

目標の柱	4	次世代の地域を担う人材の育成
基本目標(政策)	4-1	自ら学ぶ人を育み、支援します
基本計画(施策)	4-1-1	教育環境の整備充実

	課	係
主管課・係	学校教育課	学校係
関係課・係		

**【施策の目的と取組・現状分析】**

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか? ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①子どもたちが安全安心に学校生活を送り、人間性や社会性を磨くことができる。 ②子どもたちが主体的に学習に取り組み、確かな学力を身に付けるとともに、郷土愛に満ちた思いやりのある心豊かな人を育てることができる。</p>																																			
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか?</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか?箇条書きで記載してください。</p> <p>①子どもたちが切磋琢磨できる教育環境の整備、安全を最優先した学校施設の整備、情報活用能力を育成する教育機器の整備。 ②次世代を担う人材育成のため、「自ら学び」「思いやりのある」「心豊かな人」の育成。</p>																																			
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> <tr> <td>A 学校が好きな児童・生徒の割合</td> <td>小80.4 中68.5</td> <td>小87.4 中65.3</td> <td>小79.3 中73.4</td> <td>小92.0 中92.0</td> <td>小89.6 中82.5</td> </tr> <tr> <td>B 思いやりのある児童・生徒の割合</td> <td>小77.0 中77.2</td> <td>小87.0 中73.8</td> <td>小80.9 中87.0</td> <td>小90.0 中90.0</td> <td>小91.5 中96.9</td> </tr> <tr> <td>C 南会津町をもっと良くしたいと思う児童・生徒の割合</td> <td>小68.6 中58.8</td> <td>小68.4 中49.1</td> <td>小71.9 中95.0</td> <td>小70.0 中80.0</td> <td>小75.7 中75.3</td> </tr> <tr> <td>D 地域の教育資源を活用している学年の割合</td> <td>小100.0 中100.0</td> <td>小88.1 中66.7</td> <td>小95.2 中66.7</td> <td>小100.0 中100.0</td> <td>小100.0 中91.7</td> </tr> </table>	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		実績値	実績値	実績値	目標値	実績値	A 学校が好きな児童・生徒の割合	小80.4 中68.5	小87.4 中65.3	小79.3 中73.4	小92.0 中92.0	小89.6 中82.5	B 思いやりのある児童・生徒の割合	小77.0 中77.2	小87.0 中73.8	小80.9 中87.0	小90.0 中90.0	小91.5 中96.9	C 南会津町をもっと良くしたいと思う児童・生徒の割合	小68.6 中58.8	小68.4 中49.1	小71.9 中95.0	小70.0 中80.0	小75.7 中75.3	D 地域の教育資源を活用している学年の割合	小100.0 中100.0	小88.1 中66.7	小95.2 中66.7	小100.0 中100.0	小100.0 中91.7
単位	令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度																															
	実績値	実績値	実績値	目標値	実績値																															
A 学校が好きな児童・生徒の割合	小80.4 中68.5	小87.4 中65.3	小79.3 中73.4	小92.0 中92.0	小89.6 中82.5																															
B 思いやりのある児童・生徒の割合	小77.0 中77.2	小87.0 中73.8	小80.9 中87.0	小90.0 中90.0	小91.5 中96.9																															
C 南会津町をもっと良くしたいと思う児童・生徒の割合	小68.6 中58.8	小68.4 中49.1	小71.9 中95.0	小70.0 中80.0	小75.7 中75.3																															
D 地域の教育資源を活用している学年の割合	小100.0 中100.0	小88.1 中66.7	小95.2 中66.7	小100.0 中100.0	小100.0 中91.7																															
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか?</p>	<p>5 令和4年度の目標値達成の見込みと方向付け</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> <tr> <td>A ④ 下回った</td> <td>学校の全部が嫌いではなく、特定教科に対する苦手意識や人間関係など細分化された嫌いの要素があると考えられる。</td> <td style="text-align: center;">△</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B ② 上回った</td> <td>従前は「思いやり」が無いのではなく、「思いやり」に対する認識が高すぎたため実績値が低かったと考えられる。</td> <td style="text-align: center;">△</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>良くしたいと思う気持ちが無いのではなく、具体的な改善方法が浮かばなかったためであると考えられる。</td> <td style="text-align: center;">△</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D ④ 下回った</td> <td>校長会で活用を依頼したり、教職員を対象とした研修会を実施できなかった。</td> <td style="text-align: center;">△</td> <td></td> </tr> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ④ 下回った	学校の全部が嫌いではなく、特定教科に対する苦手意識や人間関係など細分化された嫌いの要素があると考えられる。	△		B ② 上回った	従前は「思いやり」が無いのではなく、「思いやり」に対する認識が高すぎたため実績値が低かったと考えられる。	△		C ③ ほぼ目標値どおり	良くしたいと思う気持ちが無いのではなく、具体的な改善方法が浮かばなかったためであると考えられる。	△		D ④ 下回った	校長会で活用を依頼したり、教職員を対象とした研修会を実施できなかった。	△																
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																	
A ④ 下回った	学校の全部が嫌いではなく、特定教科に対する苦手意識や人間関係など細分化された嫌いの要素があると考えられる。	△																																		
B ② 上回った	従前は「思いやり」が無いのではなく、「思いやり」に対する認識が高すぎたため実績値が低かったと考えられる。	△																																		
C ③ ほぼ目標値どおり	良くしたいと思う気持ちが無いのではなく、具体的な改善方法が浮かばなかったためであると考えられる。	△																																		
D ④ 下回った	校長会で活用を依頼したり、教職員を対象とした研修会を実施できなかった。	△																																		
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはなんですか?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の理解を得ながらより良い教育環境の実現のため、学校統合を実施した。</li> <li>・学校の耐震補強・大規模改修を行い、その後は必要に応じた学校施設の修繕を実施した。</li> <li>・すべての普通教室に冷房設備を導入した。</li> <li>・高度化する情報化社会で生きる力を育むため、電子黒板の整備や学習用タブレット等の導入を実施した。</li> <li>・教育大綱に基づく教育課程の編成や、幼稚園、小、中学校と段階に応じた郷土愛を育む学習等を実施した。</li> <li>・英語が話せる人材育成。</li> </ul>																																			
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 有      <input type="checkbox"/> 無</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会常任委員会の視察や教育委員の定期的な学校訪問により現状の把握に努めており、教育用パソコンの更新や施設の改修も計画的に行っている。</li> <li>・児童生徒が主体的に取り組み、次世代を担う人材を育成するための教育活動を展開している。その柱として小学校から中学校を通して英語が話せる人材育成事業を実施し、英語でのコミュニケーション能力の育成と国際感覚の向上を図っている。</li> </ul>																																			

**【施策の振り返り】**

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒にとって一定規模の集団での教育活動が保障され、社会性や人間性の育成が図られた。</li> <li>・安全で安心して学習や学校生活を送ることができる環境の改善が図られた。</li> <li>・生徒の英語学習への意欲や異文化に対する興味関心が高まり、コミュニケーション能力の育成や異文化理解が図られた。</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒のよりよい教育環境整備のため、減少する児童生徒の今後の状況を考慮し、学校の適正配置の検討が必要。</li> <li>・次世代の地域を担う人材を育成するため、自ら学ぶ意欲の向上や思いやりの心を育む取組をさらに推進していく必要がある。</li> <li>・地域について学び、郷土愛を育む教育活動の推進を継続して行う必要がある。</li> </ul>
<p>9 本施策の類似性</p>	<p><input type="checkbox"/> 有      <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>「教育環境の整備充実」には、施設整備費や人件費など多額の予算が必要になるが、年次計画を立てたり必要最小限の人員配置にするなど、効率性にも配慮して施策を展開している。</p>

**【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】**

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<p>教育大綱の実現のために、次世代の地域を担う人材を育成するための教育の充実を行う。</p>
-------------------------------------	---

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和5年度新規事業 に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額
01	スクールソーシャルワーカー活用事業	学校教育課	目的	問題を抱える児童生徒の様々な環境に働きかけを行い、相談体制を整えるとともに、問題行動の未然防止と課題解決を図る。		
			概要	学校教育課内にスクールソーシャルワーカーを配置し、関係機関と連携を図りながら早期解決を図った。		
			成果	家庭と学校との連携を深め、教育環境の充実が図られた。		
		学校係	問題	対象ケースが増加していること、家庭の学校教育に対する理解不足、学校において人手不足により十分に対応できない点がある。		
			対策	①継続 児童生徒の取り巻く環境を把握し早期の問題解決を目指す。		
			事業費	11,948	6,757	7,659
02	県立南会津高等学校(旧田島高等学校)後援会事業補助金	学校教育課	目的	南会津高等学校(旧田島高等学校)後援会事業の充実を図る。		
			概要	生徒の学力向上や部活動、中高一貫教育事業等へ助成した。		
			成果	授業及び部活動等の支援により、学校運営の充実が図られた。		
		学校係	問題	田島・南会津高校が統合され、統合後の本事業のあり方を考える必要がある。		
			対策	①継続 生徒数の増加につなげるため、教育活動の充実等魅力化を高める支援を行っていく。 令和5年4月統合により事業名称を変更。		
			事業費	5,218	6,451	6,500
03	県立南会津高等学校生徒確保支援事業補助金	学校教育課	目的	南会津高等学校生徒数確保支援事業の充実を図る。		
			概要	冬季スクールバス運行や生徒遠征費等への助成など、生徒確保に向けた取組を支援した。		
			成果	保護者の負担を軽減することで生徒数の確保が図られた。		
		学校係	問題	田島高等学校との統合により、令和6年度で事業実施の必要がなくなる。		
			対策	③廃止 令和6年度で旧南会津高等学校分は廃止。		
			事業費	5,408	5,600	5,210
04	県立高等学校通学生徒支援事業	学校教育課	目的	県立高等学校への通学に対する体制の整備を図る。		
			概要	田島地域から南会津高等学校までのスクールバスを運行した。		
			成果	県立高等学校への通学に対する体制の整備が図られた。		
		学校係	問題	令和5年4月に統合され、令和6年度から利用者がいなくなるため事業廃止。		
			対策	③廃止 令和5年度で廃止。		
			事業費	7,143	7,757	8,086
05	スクールバス運行	学校教育課	目的	遠距離通学児童・生徒に対する通学の利便を図る。		
			概要	遠距離通学児童・生徒に対するスクールバスの運行した。		
			成果	児童生徒の通学の利便が図られた。		
		学校係	問題	学校、保護者からの運行(乗車)要望の増加、運行経費の増加。		
			対策	①継続 乗車の必要性についての検証及び乗車規則の丁寧な説明、路線バス、乗合タクシーへの混乗を検討する。		
			事業費	127,920	129,222	129,496
06	特別支援教育支援員配置事業	学校教育課	目的	特別に支援が必要な児童生徒への学習・生活支援を行う。		
			概要	特別に支援が必要な児童生徒への学習・生活支援のための特別支援教育支援員を各小中学校に配置した。		
			成果	児童生徒への支援の実施により、学校生活への適応や学力の定着が図られた。		
		学校係	問題	特別に支援を要する児童生徒が増加傾向にある。支援員活用方法の理解に学校間で差がある。		
			対策	①継続 適切な就学指導と保護者との教育相談の実施及び学校の支援体制の強化、支援員の適正な配置。		
			事業費	50,539	51,387	48,879
07	英語が話せる人材育成事業(中学生対象)	学校教育課	目的	中学生に対し英語でのコミュニケーション能力の育成と国際感覚を身に付けさせる。		
			概要	町内の中学校4校で異文化体験語学研修、英検受検、学習教材の提供を行った。		
			成果	生徒の英語でのコミュニケーション能力の向上と言語や文化に対する理解が深まった。		
		学校係	問題	生徒の英検受験に対しての意欲に差がある。		
			対策	①継続 英語を学ぶ体験が学校での普通の英語の授業内容と関連できるよう検討する。		
			事業費	8,493	7,906	7,493

08	各種大会等出場 助成事業	学校教育課	目的	児童生徒に活躍の場と機会を与え、一人ひとりの自己実現を図る。			
			概要	中学生の中体連等大会出場に係る経費の援助など。			
			成果	各種大会やコンクールなどで上位の成績を目指し、すばらしい成績を収めることができた。			
		学校係	問題	大会参加におけるバスの確保及び人件費、燃料単価増によるバス借上料の増加。			
			対策	①継続	町マイクロバスの優先活用、学校同士での相乗り等で対応していく。		
事業費	1,024	3,990	4,461	5,729			
09	小学生農山漁村 交流事業	学校教育課	目的	他地域の自然や文化・生活に触れることで視野を広げ、郷土や社会を支える人材育成を図る。			
			概要	小学5年生を対象に、本町とは環境が全く違う海沿いの地域で宿泊体験や自然体験活動を行い、見聞を広める。			
			成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から未実施。			
		学校係	問題	事業日数が3日間と多く、学校の負担が大きい。財政負担が大きい。			
			対策	③廃止	令和3年度で廃止。 今後は県内の自然体験施設を活用していく。		
事業費	0	0	0	0			
10	学校教育力向上プ ラン事業	学校教育課	目的	学級マネジメント能力(学級経営力)を向上させ、児童生徒の生活と学習面の指導の向上を図る。			
			概要	QU式検査の実施により学級の実態を把握し、指導に役立てた。 (QU式検査とは、子どもたちの学校生活における満足度と意欲、学級集団の状態を調べることができる質問紙。)			
			成果	望ましい学級集団づくりや個に応じた手立てのための資料として活用でき、いじめ防止対策にもつながった。			
		学校係	問題	検査結果の効果的な活用について、さらなる指導に役立つ方法の検討。			
			対策	①継続	学校教育指導委員会(各校1名)による情報交換や研修機会の充実。		
事業費	866	520	843	756			
11	複式学級支援事 業	学校教育課	目的	非常勤講師を配置し、学習指導・生徒指導の充実を図る。			
			概要	複式学級となる学校に県配置加配教員の時数不足分を町が負担し、非常勤講師として雇用了。			
			成果	きめ細やかな学習指導の充実を図り、基礎学力の向上に努めた。			
		学校係	問題	今後の町内の小中学校の児童生徒数の推移からの配置基準の設定。			
			対策	①継続	小学校2年生以上については県の加配基準に基づき、小学校1年生を含む場合は町学習支援員を配置。		
事業費	3,145	558	3,395	5,498			
12	外国青年招致事 業費	学校教育課	目的	外国語指導助手を招致し、幼・小・中学校の英語指導の充実を図る。			
			概要	幼・小・中学校の英語指導のため外国語指導助手を招致した。			
			成果	英語教育の充実と学力の向上が図られた。			
		学校係	問題	外国語指導助手への服務規律の指導の徹底。			
			対策	①継続	仕事から生活面において、南会津地方広域圏組合と連携しながら指導を徹底する。		
事業費	22,660	22,428	19,425	22,476			
13	教職員住宅管理 費	学校教育課	目的	教職員の生活環境の充実を図る。			
			概要	教職員住宅の管理・整備充実を図った。			
			成果	教職員の生活環境の充実が図られた。			
		学校係	問題	空き部屋が多く、雪害等により経年劣化が激しい住宅がある。			
			対策	①継続	経年劣化により使用していない住宅を取り壊すため、令和4,5年度に解体工事を実施した。		
事業費	1,122	1,317	3,671	7,732			
14	郷土愛を軸とした キャリア教育推進 事業	学校教育課	目的	次世代を担う人材として、町を愛し、将来町に貢献しようとする人材を育成する。			
			概要	町内の小中学校において、地域について学ぶ学習活動や地域での職場体験学習等を取入れた。			
			成果	平成29年度から実施し、副読本の活用や町を知る成果につながった。			
		学校係	問題	現状では特になし。			
			対策	①継続	教育委員会が主催する南会津町の教育を考える会などを通じて事業を推進する。		
事業費	0	0	0	0			
15	英語が話せる人材 育成事業 (高校生対象)	学校教育課	目的	高校生に対し英語でのコミュニケーション能力の育成と国際感覚を身に付けさせる。			
			概要	高校1年に異文化体験施設(ブリティッシュ・ヒルズ)での体験学習をする機会を設けた。			
			成果	生徒の英語でのコミュニケーション能力や言語、文化に対する理解が深まった。			
		学校係	問題	高校生を対象とすると、町外の生徒も含まれており、不公平感がある。			
			対策	③廃止	全てが町民である小・中学校児童への支援が適切ではないかと、事業内容の見直しを図り令和4年度で廃止した。		
事業費	505	1,896	2,099	0			
16	ブーメラン奨学金 の活用	学校教育課	目的	次代を担う人材として、町を愛し、将来町に貢献しようとする人材(医療面)を育成する。			
			概要	地元の医療機関で働く看護師の育成を図った。(町の医療機関に勤務することで返還免除の規定あり)			
			成果	平成26年度からこれまでに奨学生7名、現在貸与中1名、返還猶予中6名で成果としては今後になる。			
		学校係	問題	返還免除に関する条件が就業の実勢と合わない。			
			対策	①継続	医療奨学生だけの支援ではなく、町企業への就業、定住などにより支援を受けられるよう、支援条件の拡充や貸与条件等の規定を再考していく。		
事業費	0	0	0	0			

17	ICT教育推進事業	学校教育課	目的	高度化する情報化社会の中で、子どもたちの生きる力を養うために環境整備を行う。			
			概要	各小中学校の普通教室に通信ネットワーク網を整備し、ICT機器(電子黒板・書画カメラ・学習用タブレット)を導入した。			
			成果	ICT機器を活用した教育の充実が図られ、児童生徒の学習意欲の向上につながった。			
		学校係	問題	ICT機器を活用した教育活動の推進方法、授業での活用の促進。			
			対策	①継続	各校での効果的な活用方法について町全体で共有する場と機会の設定。		
			事業費	171,238	30,032	24,618	23,826
18	山村留学受入事業	学校教育課	目的	複式学級の解消を含めた教育環境の改善、地域活性化を目指すため山村留学の受入れを行う。			
			概要	少子化の著しい館岩地域において、首都圏等より児童生徒を募集し、通年による留学を行う。			
			成果	夏休み・冬休みの短期留学を実施し、人材を含めた地域資源の掘り起こしと地域への周知を図った。			
		学校係	問題	通年で山村留学を実施するにあたり、拠点施設の整備が必要である。			
			対策	①継続	補助事業、起債等の活用による財源の確保と拠点施設の設置場所の選定を進める。		
			事業費	5,588	5,239	7,055	6,260
19	英語が話せる人材育成事業 (小学生対象)	学校教育課	目的	今後の地域を担う人材として、英語での簡単な日常会話ができる人材を育成する。			
			概要	発達段階に応じて英語教育を推進する。(小学校5・6年生年間3回、3・4年生年1回、英語ライブ授業を実施)			
			成果	通信環境が整っていなかったことから令和4年度は小学生対象の事業を取止めた。			
		学校係	問題	学校から事業再開に対する要望が大きい。			
			対策	①継続	GIGAスクールの実施に伴い、通信環境が整ったことから令和5年度事業再開。		
			事業費	1,971	1,960	0	1,877
20			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
21			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
22			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
23			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
24			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
事業費の合計(千円)			424,788	283,020	278,890	320,551	